

前任職ご挨拶 四十八年走馬灯

名誉住職 坪井全広

寒風が吹きすさぶ昭和四十四年一月二十日、私は一人で当寺に入寺しました。荷物と言えば、身の回りの必需品と基本的な法衣一式だけなので六畳一間で十分でした。近くに友人知人はなく、全くの新天地でしたが、前任職(後の義父母)は何かと気を配ってくれ、生活面での苦勞を感じてはありませんでした。

よくある話で、高野山という閉ざされた大学と僧侶専門門学校を出たものの、一番大切な法務や環境への適応経験が乏しく、まるで井の中の蛙のようなもの。先代は体調が悪い状態でしたが、秘儀を授ける為に必死でした。真摯一徹の執事の大家、光亮師に実践を学びました。



晋山式(牛玉所)

その年の十一月、入寺を待っていたかのように、先代の遷化にあり、空白を埋める為に急遽高野山へ住職の申請。翌昭和四十五年一月に、当山で晋山式が執り行われました。

住職になったものの、古くなった堂塔を改築しよう。新しい何かに取り組もう、という知力も財力もなく。ただ、目の前にある、地域の文化の象徴である行事や、しきたりを可能な限り正確に守りたい、檀信徒や地域の先人の心が凝縮した伽藍を少しでも綺麗にしたい。そうした御本尊もきつと喜んで下さるだろうと:

それから四十八年、時々「慣れない土地で、大変な重職でさぞ苦勞したでしょう。」と労わられますが、むしろ何にも知らなくて「人生とは、社会とはこうしたものだ」と思い込んでいたのが、自分には幸いしたように思います。しかし「果たして私が住職で良かったのだろうか、もし違ったら人が住職であつたら、もつと素晴らしい寺になつていたのではないだろうか。私が寺の発展を阻害してきたのではないか」と、自問する事が少なくありません。でも、タラタラの話は御本尊のみがご存じのところ。現在は毎朝お香を手向け、平成七年のご開帳の折に拝したご本尊の尊顔が臉に浮かぶまで瞑目し、累代住職・檀信徒各家のご先祖・三界萬靈。そして有縁の皆様が、どうぞ安穩でありますように。と念じています。

晋山ご挨拶 「伝統と未来」

新任職 坪井綾広

この度、晋山式において前任職より正式に住職として引継ぐことになり、身の引きしまる思いで一杯です。そして何よりこの日に至るまで、檀信徒、地域の皆さまに、ご指導いただき、深く感謝しております。今の私には、二つの目標があります。



風船祈願

一つ目は、檀信徒はもとより地域に親しまれるお寺を目指すこと。そして、会場を通じて未来を担う子供たちに、地域の伝統や文化を伝え、郷土愛や命をテーマにした地域教育をお寺だけでなく、あらゆる企業や団体と協働できる環境を作る事です。二つ目に、十年後は、いよいよ



山式法会

一連の法会の儀式を目の前で体験させて頂きました。本堂の前で記念撮影を済ませた後、列席者全員の手で、願いを込めた五色の風船を飛ばしました。それは秋の青空に映えてとても美しく、印象的でした。

それから、客殿での晋山祝賀会に移り乾杯。後、船上法会のスクリーンをバックにピアノ演奏を聴きながら歓談させて頂きました。途中、私はめつたに見ることもなかつた本堂の内陣を拝観させて頂き、長い歴史を経過した当時の人々の信仰心が如実に伝わってくる思いが致しました。最後に、三本締めにて

式典が滞りなく終了しました。四十七年ぶりの住職交代により、綾広新任職が千二百年の法燈を継承され、観音院と地域の発展に貢献してください。どうぞ。私たちが檀家として、祈り、高年齢化が進むなかで、今まで同様、身近な存在でありつづけて頂きたい、と願っています。今後ともよろしくお



祝賀会乾杯

西大寺が創建された旧暦の九月の暦に合わせ、千二百四十年ぶりに開祖皆足姫、開山安隆上人並びに龍神をご供養する船上法会が執り行われました。当山檀信徒三十余名をはじめとして、私達みななる会員もワクワク



榎戸龍宮



奉納コンサート

願いたします。皆さま方とともに、お祝いさせて頂いただけで幸せな一日でした。

晋山記念 榎戸の浦龍宮城 船上法会に参加して

みなたる会 会員

平成二十九年十月十六日、あいにくの雨。此処は瀬戸内海の榎戸の浦、風にあおられた五色の風船が所願成就の祈りを込めて男木島の空の彼方に舞い上がります。波間には供養の塔婆が漂います。

船上では、坪井全広名誉住職、坪井綾広新任職につづき、この度龍燈を分燈して戴いた山口県の般若寺様の読経が響いていきます。さらに窪八幡宮様がお祓いの祝詞をあげられます。

心をこめて清掃奉仕

観音会 山本周二

四十七年ぶりの「晋山式」の準備で寺内全域を大清掃しました。千二百年の「金陵山西大寺」

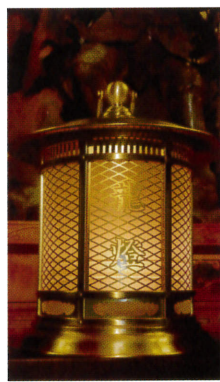


クした気持ちで参加させて頂きました。読経を聴き、唱えながら幻想的な景色の瀬戸内の島々の間を縫うように船が進んでいきます。かつて海上交通の安寧を観音さまに祈る要所として、この西大寺の地が選ばれた事がよく理解できました。法要行事も終盤、波に揺られながらピアノ演奏や尺八演奏に耳を傾けていますと、まるで迦陵頻伽の奏でる音楽の中にいる様な心地でした。帰途船内から海上を眺めると、所々波が龍の如く渦を巻いていて潮目の変わりが見てとれます。いにしえには、この榎戸の浦が干潟となり龍神が現れた絵巻を彷彿させる瞬間でした。またとないご縁に、感謝の一日を過ごさせて頂きました。



船上法会

三十三年に一度のご開帳を迎えます。その時、私は五十一才、長男が十九才となります。偶然、なんと先の平成七年のご開帳でも私は十九才、前任職も五十二才でした。ご本尊の導きとも思えるこの不思議な縁のご開帳をバネに、寺院環境をより一層発展できるように精進してまいりたいと思っております。この晋山式を機に、失われた霊宝の一つ、榎戸の龍燈を迎えることが出来たことも大きな喜びです。



晋山式に列席して

観音会副会長 麻岡 健二

十一月十三日当日、晴天に恵まれ、式典を迎えることができ、県内外寺院住職、檀信徒、会歴歴代の祝い主方々、約百名が列席され盛大に執り行われました。式は本堂と牛玉所殿において、般若心経から始まり厳かに

オアシス霊園「西大寺東」 好評受付中

創業明治22年 仏壇・墓石・霊園・寺院荘厳品



西大寺店 岡山市東区西大寺中1丁目1-3 TEL (086)942-1633 FAX (086)942-1639

ホームページ・http://www.sanpoudo.co.jp/

株式会社 JA岡山 やすらぎ
葬儀 法要
年中無休 24時間受付
墓石 仏壇
http://www.ja-okayama.or.jp/sousai

墓地・墓石
石に心の祈りを刻む
栄 坂本石材(株)
岡山県瀬戸内市邑久町尻海4382-84
営工場(0869)24-0622/営事務所(0869)24-0285

“まごころ” 祈りある心豊かな暮らしを求めて
株式会社 小林朱雲堂 西大寺店
〒704-8192 岡山市東区西大寺中野本町11-32
TEL:086-942-5559 saidaiji@syuundo.com
仏壇・仏具・墓地・墓石